## PRODUCTION OF MASK FOR EXPOSING

Patent number:

JP4136855

Publication date:

1992-05-11

Inventor:

**KUDO JINKO** 

Applicant:

**FUJITSU LTD** 

Classification:

- international:

G03F1/08; H01L21/027

- european:

Application number: Priority number(s): JP19900257154 19900928

JP19900257154 19900928

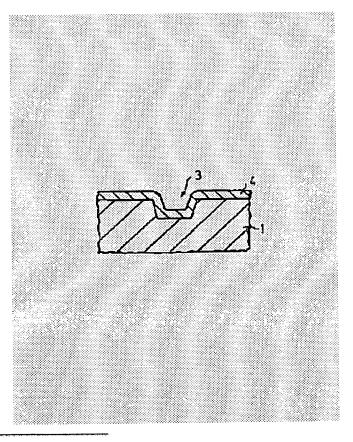
## Report a data error here

## Abstract of JP4136855

marks on the outer side of the pattern drawing region of light shielding film patterns, measuring the position of the marks, detecting the distortions of a substrate and plotting the patterns with an electron beam while correcting the distortions. CONSTITUTION: The resist patterns covering the parts exclusive of the marked parts are formed on the mask substrate 1 and are etched to dig grooves of the step mark 3 shapes. A chromium film is formed as the light shielding film 4 after the resist is removed. The resist is then applied on the region of the light shielding film patterns. The mark 3 is not coated with the resist. The exposing to plot the resist to the prescribed circuit patterns with the electron beam is then started with the positions of the plural marks 3 as references and the position measurement and beam adjustment of the marks 3 are executed where the plotting is roughly completed. The change of the substrate 1 with lapse of time is determined from the differences between the measured values and the initial measured values (or the measured values of the previous time) and the plotting with the electron

beam is executed while the correction is made.

PURPOSE:To enhance the position accuracy and pattern accuracy of patterns by providing step



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁(JP)

m 特許出願公開

#### ⑩ 公 開 特 許 公 報(A) 平4-136855

®Int. Cl. 5

識別記号 庁内整理番号 ⑩公開 平成4年(1992)5月11日

G 03 F 1/08 H 01 L 21/027

В 7369-2H

> 7013-4M 7013-4MH 01 L 21/30

3 4 1 3 4 1 J B p 301 3 3 1 M

7352-4M

(全4頁) 請求項の数 2 審查請求 未請求

❷発明の名称 露光用マスクの製造方法

> ②)特 願 平2-257154

22出 願 平 2(1990) 9月28日

⑫発 明 T. 尶 神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地 富士通株式会社

富士通株式会社 願 人 勿出

神奈川県川崎市中原区上小田中1015番地

個代 理 人 弁理士 青 木 外 4 名

## 細

1. 発明の名称 露光マスクの製造方法

## 2. 特許請求の範囲

1. 電子ビーム描画技術を利用してマスク基板 (1)と遮光膜パターン(2)とからなる露光用 マスクを製造する方法において、該マスク基板の 遮光膜パターン描画領域の外側に段差マーク (3) を 2 つ以上設け、該電子ピーム描画の前および最 中に、電子ピームで走査して該段差マーク (3) の位置を測定し、描画時の温度変化での熱膨張に 起因したマスク基板の歪みを経時的に検出して、 該歪みを摊正しながら電子ビーム描画を行うこと 、を特徴とする露光用マスクの製造方法。

2. 前記鑑光用マスクは、マスク基板 (1)と その上に電子ピーム描画技術で成形された遮光膜 パクーン (2) とからなり、該マスク基板の遮光 膜パターン描画領域の外側に段差マーク(3)が 2箇所以上設けられていることを特徴とする請求 項1記載の露光用マスクの製造方法。

## 3. 発明の詳細な説明

超しS1等の半導体装置の製造工程でのリソグ ラフィ技術、より詳しくは、レジスト露光用のホ トマスクないしX線マスク等の露光用マスクの製 造方法に関し、

従来の欠点を解消して、遮光膜パターンの位置 精度およびパターン精度を高めた露光用マスクの 製造方法を提供することを目的とし、

電子ビーム描画技術を利用してマスク基板と逸 光膜パターンとからなる露光用マスクを製造する 方法において、該マスク基板の遮光膜パターン描 画領域の外側に段差マークを2つ以上設け、診電 子ピーム描画の前および最中に、電子ピームで走 査して該段差マークの位置を測定し、描画時の温 度変化での熱膨張に起因したマスク基板の歪みを 経時的に検出して、該歪みを補正しながら電子ビ - ム描画を行うように構成する。

特開平 4-136855(2)

#### 〔産業上の利用分野〕

本発明は、超LSI等の半導体装置の製造工程でのリングラフィ技術、より詳しくは、レジスト 露光用のホトマスクないしX線マスク等の露光用マスクの製造方法に関する。

半導体装置の高集積化、高性能化、高機能化の 連展に伴って、微細パターン形成技術が一層重要 になってきており、回路パターンを転写するため の露光用マスクを高精度に作成必要がある。

#### 〔従来の技術〕

より微細なパターンを形成することの出来る電子ピーム描画法を用いて、露光用マスクが製造されている。これは、透過性のマスク基板の上に形成した遮光膜を所定回路パターンにする際にレジストの露光に電子ピームを用いるわけである。

従来の電子ビーム描画を用いた露光用マスクの 製造においては、マスク基板のホルダー上の一点 を基準位置とし、該基準位置でビームの調整を行 い、該基準位置から予め設定されているマスク中

(3)

いて決まるので、マスク基板のホルダーへの取り付け位置ずれはそのまま描画位置のずれとなって しまう。

本発明の目的は、上述した欠点を解消して、遮 2 膜パターンの位置精度およびパターン精度を高 めた露光用マスクの製造方法を提供することであ る。

## (課題を解決するための手段)

上述の目的が、電子ピーム描画技術を利用してマスク基版と遮光酸パクーンとからなる露光用マスクを製造する方法において、該でスクを製造する方法においれて、該発達マークを2つ以上設け、該電子ピーム描画の前および最適中に、電子ピームで走査して該段をマークの位置を測定し、描画時の温度変化での無膨張に起因した。変光によって進力ととを特徴とするの製造方法によって達成される。

設ける段差マークは、露光用マスクの縦横両方

[発明が解決しようとする課題]

心迄の距離を基準に描画を行っている。

電子ビーム描画中にマスク基板やホルダーは、 電子の衝突、装置コラムからの輻射熱などによっ て徐々に加熱されて温度が上がり、熱膨張による 歪みが描画時間とともに大きくなる。この歪みの ために、出来上がった描画パターン即ち遮光膜パ ターンに歪み(位置ずれ)が生じる。また、電子 ビームの調整をホルダー上で行っているために、 マスクの描画位置とホルダーの調整位置の高さず れによるフィールドの器ぎ精度の劣化やフォーカ スのずれを招いている。従って、このような従来 の電子ピーム描画方法では、熱膨張による歪みの 経時変化およびホルダーとマスク基板の熱膨張率 の違いによるホルダー基準位置とマスク基板の相 対位置のずれを補正することが出来なかった。そ して、これらのことが遮光膜パターンの位置ずれ となりパターン精度を低下させていた。

また、描画位置がホルダー上の基準位置に基づ

(4)

何での歪みを把握するために、離れた対称的な 4 筋所に形成するのが好ましい。

# (作,用)

本発明では、熱膨張などによるマスク基板の経 時変化を段差マークを利用して測定し、その測定 結果で補正しながら電子ピーム描画を行うために、 マスクパターンの精度の低下を防止し、精度を高 めることが可能となる。

## (実施例)

以下、添付図面を参照して、本発明の実施態様 例によって本発明を詳細に説明する。

第1図が本発明に係る露光用マスクの版略平面図であり、ホルダーは省略して示していない。

本発明に係る露光用マスクは、第1図に示すように、透過性のマスク基板 1 とその上に形成した 遠光膜パターン 2 (図面ではその区域を示す) お よび段差マーク 3 とからなる。この場合に、段差 マーク 3 は 遠光膜パターン 2 の 領域の外側で基板

特開平 4-136855(3)

1のコーナー部に4つ設けられており、それぞれの形状は同じ4角形である。マーク形状は、十字やし字であっても良く、マークの辺が真っ直ぐでかつ隣の辺と垂直にしてある。

本発明に係る製造方法に従って、露光用マスク を、例えば、次のようにして製造する。

ク(露光用マスク)が得られる。

(7)

ホトマスクの例で説明したが、レチクルや、マスク基板にSiC膜を用い、遮光膜にTa、Wなどの重金属を用いて、X線マスクを本発明の方法を適用して製造することが出来る。

領域およびその周囲近傍の上にレジストをスクリーン印刷法で塗布し、段差マーク 3 およびその周 切近傍をレジストでは覆わない。

そして、それぞれの段差マーク3を電子ピーム で走査して、段差部での電子の反射の変化を検知 器で検出することでマークの位置を測定する。こ れらマーク3を用いて電子ビームの調整を行う。 次に、4箇所の段差マーク3の位置を基準にして、 電子ビームでレジストを所定回路パターンに描画 する露光を開始し、フィールドの代わり目等の区 切りの良いところで、3分毎に各マーク3の位置 測定およびビームの調整を行う。この測定値と最 初の測定値(または、その前回の測定値)との差 からマスク基板1の経時変化を求め、電子ビーム 描画を補正しながら行う。描画後に、レジストを 現像し、このレジストパターンをマスクとして遮 光膜(クロム膜)をRIE法でエッチングして、 回路パターンの遮光膜パターンを形成する。この 時に、段差マーク3での遮光膜もエッチング除去 される。レジストパターンを除去して、ホトマス

(8)

(発明の効果)

以上説明したように、本発明によれば、電子ビーム描画の基準位置をマスク基板内に複数設定するので、マスク基板自身の熱膨張による歪みを考慮して高精度の遮光膜パターンの露光用マスクを 製造することができ、マスク基板ホルケーに基準 位置を設定することから生じる欠点はない。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、本発明に係る製造方法による露光用マスクの平面図であり、

第2図は、段差マークでの諸光用マスクの部分 断価図であり、

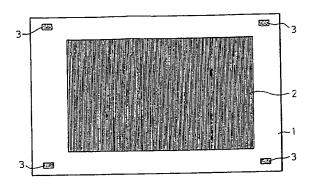
第3図は、別の方法で形成した段差マークでの 難光用マスクの部分期而図である。

1…マスク基板 2…遮光膜パターン

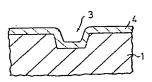
3 … 段差マーク 4 … 遮光膜

BEST AVAILABLE COPY

特開平 4-136855(4)



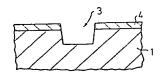
本発明の露光用マスクの平面図 第 1 図



第 2 図

1…マスケ基板

2…遮光膜パターン



第 3 図

3 …段差マーク 4 …遮光膜